

# スタートガイド 1 設置編

このパソコンをお使いになる前に、「安心してお使いいただくために」もお読みください。ここでは、添付品の確認と接続から電源の入れ方までを説明しています。

## FMV-DESKPOWER

LX90T/D, LX90TN, LX70T/D, LX70TN, LX55T/D, LX55TN, LX50T/DS, LX50T/D, LX50T, LX50TN, LX40T, LX40TN

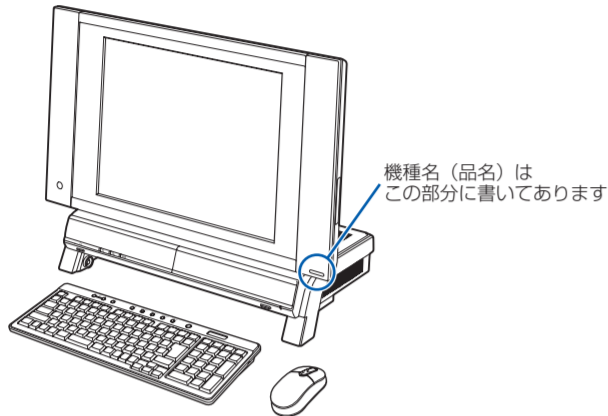


T 4988618889032

## 1 『スタートガイド 1 設置編』の読み方

ここでは、「スタートガイド 1 設置編」の読み方を説明しています。「スタートガイド 1 設置編」はお使いの機種や、機能によって説明が異なる場合があります。お使いのパソコンの機種名や機能を確認し、必要な箇所をお読みください。

### ■機種名(品名)の確認



機種名(品名)はこの部分に書いてあります

### ■イラストについて

このマニュアルに記載されているイラストは一例です。お使いの機種によって、イラストが若干異なることがあります。また、このマニュアルに記載されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

### ■読み方について

機能の有無によって読む箇所が違う場合は、マークで表しています。次の表でお使いの機種をご確認のうえ、記載されているマークの箇所をお読みください。

TV : 「テレビチューナー」が搭載されている場合にお読みください。

地デジ : 「地上デジタルテレビチューナー」が搭載されている場合にお読みください。

無線 : 「無線 LAN」機能が搭載されている場合にお読みください。

機種名(品名)	シリーズ名	マーク
LX90T/D	LX90 シリーズ	TV 地デジ 無線
LX90TN	LX90 シリーズ	TV 地デジ 無線 [注]
LX70T/D	LX70 シリーズ	TV 地デジ 無線
LX70TN	LX70 シリーズ	TV 地デジ 無線 [注]
LX55T/D	LX55 シリーズ	TV 地デジ 無線
LX55TN	LX55 シリーズ	TV 地デジ 無線 [注]
LX50T/DS	LX50 シリーズ	TV 地デジ 無線 [注]
LX50T/D	LX50 シリーズ	TV 地デジ 無線
LX50T	LX50 シリーズ	TV 無線
LX50TN	LX50 シリーズ	TV 地デジ 無線 [注]
LX40T	LX40 シリーズ	無線
LX40TN	LX40 シリーズ	TV [注] / 無線 [注]

注：インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART (ウェブマート)」で「カスタムメイドモデル」をご購入の際に、選択した場合のみ搭載されています。

### ◎シリーズ名について

いくつかの機種をまとめて示す場合、次のように表記することがあります。

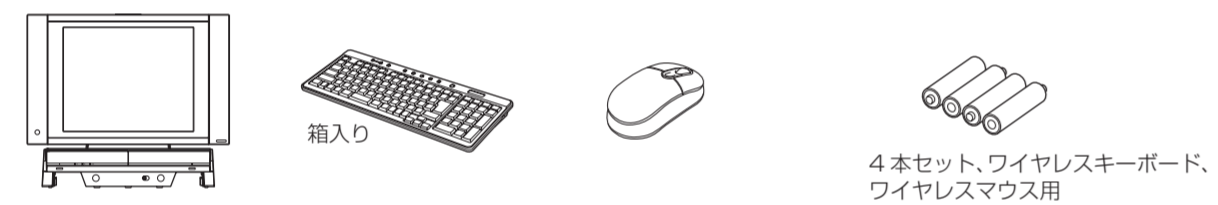
(例) LX90/70/55 シリーズ

## 2 添付品がすべて揃っているか確認してください

**本体やケーブル類** 電源ケーブル等を束ねているバンド(針金)は、必ず取り外してからお使いください。

### パソコン本体の箱に入っています

- パソコン本体
- ワイヤレスキーボード
- ワイヤレスマウス(光学式) [注]
- 単3 アルカリ乾電池



- パソコン本体用電源ケーブル
- 保証書
- モジュラーケーブル
- B-CAS カード [地デジ]



- リモコン [TV]
- 単3 マンガン乾電池 [TV]
- [2.4GHz 帯使用無線機器のご使用上の注意] のステッカー [無線]
- メディアタンク (LX50T/DSのみ)



注：ワイヤレスマウスを振るとカラカラという音がありますが、これはモーションセンサーの振動検出機構の音であり、故障ではありません。

### マニュアルやディスク類

#### パソコン本体の箱に入っています

#### マニュアル・ディスクセット

- スタートガイド 1 設置編
- スタートガイド 2 セットアップ編
- FMV 活用ガイド
- FMV で見る・録る・残すガイド
- FMV 地デジあんしんガイド [地デジ]
- FMV 取扱ガイド
- サポート＆サービスのご案内
- 安心してお使いいただくために
- 各種ご案内
- インターネットプロバイダカタログ
- ディスクセット

※「リカバリー用ユーティリティディスク / アプリケーショントラック 1」や「富士通サービスアシスタント」などが入っています。他に同梱されているディスク名は、ディスクセットの表紙に記載されています。

その他に注意書きの紙、カタログ、パンフレットなどが入っている場合があります。

#### ソフトウェア (Microsoft® Office) の添付品

機種によって添付されているソフトウェアが異なります。お使いの機種、または選択したソフトウェアをご確認ください。

#### ◎ LX90T/D, LX70T/D, LX55T/D, LX50T/DS, LX50T/D, LX50T, LX40T の場合

- Microsoft® Office Personal Edition 2003 のパッケージ

※あらかじめインストールされています。

#### ◎ LX90TN, LX70TN, LX55TN, LX50TN, LX40TN の場合

(「Office Personal 2003 セット」を選択した方のみ)

- Microsoft® Office Personal Edition 2003 のパッケージ

※あらかじめインストールされています。

- 追加ディスク (「Office Personal 2003 セット」選択用)

※「プロアトラス」などが入っています。他に同梱されているディスク名は、追加ディスクの表紙に記載されています。

添付のディスク類は、このパソコンをお使いになるうえで重要なものです。お客様ご自身で大切に保管してください。なお、添付品を紛失された場合は、ご提供できないものもありますので、ご了承ください。

## ? ご購入後 1ヶ月以内の添付品の不足に関するお問合せ窓口

「富士通 パーソナル製品に関するお問合せ窓口」内

富士通パソコン診断センター

0120-950-222

24時間・365日サポート

携帯電話、PHS、海外からはこちら

03-5462-9551 (通話料金お客様負担)

受付時間：9:00～17:00

(システムのメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります)

① 上記電話番号までお電話をおかけください。

② 音声ガイドに従い、[2] (故障・修理のご相談) を押してください。

③ 次に、音声ガイドに従い、[1] (購入後 1ヶ月以内) を押してください。

④ オペレーターにつながりますので、ご相談ください。

### ※ご注意

○音声ガイドで「番号が確認できません」というメッセージが流れたら

・フッシュボタン式の電話機で、電話回線の契約が「ダイヤル回線」の場合

電話がつながった後に、トーン切替ボタン (一般的に「\*」ボタン) を押してください。

・ダイヤル式の電話機 (一般的な黒電話機) の場合

電話がつながった後、窓口選択ができませんので、ダイヤルせずにそのままお待ちください。

○電話番号はお間違えのないようお確かめの上おかけください。

☆「富士通/パソコン診断センター」はご購入後 1ヶ月以内の専用窓口です。

☆「富士通/パソコン診断センター」にご相談いただく前に、お客様の必要なデータをバックアップしておいてください。

☆ハードウェアトラブルのご相談の場合、まずトラブルの状況について診断させていただきます。

☆添付品が不足していた場合は、お手数をおかけいたしますが、1ヶ月以内に左記「富士通/パソコン診断センター」までご連絡ください。ご購入後 1ヶ月を過ぎますと、有料になる場合やご提供できないものもありますのであらかじめご了承ください。

☆パソコンの操作や技術的なご質問・ご相談につきましては、ご購入後 1ヶ月以内でも「Azby テクニカルセンター (富士通/パーソナル製品に関するお問合せ窓口内)」をご利用ください。<事前にユーザー登録が必要です。>

☆ご購入後 1ヶ月を過ぎた製品の故障・修理相談については、「富士通/パーソナルエコーセンター (富士通/パーソナル製品に関するお問合せ窓口内)」をご利用ください。

☆なお、サポート＆サービスの詳細につきましては、同梱冊子「サポート＆サービスののご案内」をご覧ください。

## 3 テレビを見る場合に用意してください

### TV

アンテナケーブル、同軸ケーブル、変換コネクタ、V/U 混合器などは添付されていません。お客様で用意してください。

### 必ず用意してください

F 型コネクタプラグ付きアンテナケーブルをご購入ください。アンテナケーブルとパソコンの接続には、ノイズの影響を受けにくいネジ式の F 型コネクタプラグ付きアンテナケーブルのご使用をお勧めします。なお、ケーブルは適切な長さのものを用意してください。



ネジ式 F 型コネクタ



アンテナケーブル

### ネジ式でない F 型コネクタプラグ付きアンテナケーブルをお使いになる場合

・コネクタの形状 (大きさ) によっては、パソコン本体に干渉して接続できない場合があります。また、S ビデオケーブルなどの他のケーブルを同時に接続できない場合があります。・ネジ式でない F 型コネクタプラグ付きアンテナケーブルは、ネジ式に比べノイズの影響を受けやすいため、映像が乱れることがあります。

### 必要に応じて用意してください

アンテナ線の形状などによって、必要なものが異なります。ここでは、代表的なものを説明します。必要なものをご購入ください。

#### ・分波器

1本の線に混合されている電波を分ける機器です。

#### ・分配器

1本のアンテナ線を、複数の端子で使うために分配する機器です。

#### ・混合器

別々の電波を、1本の線に混合するための機器です。

また、VHF/UHF のアンテナ線と BS・CS のアンテナ線を混合できるものや、

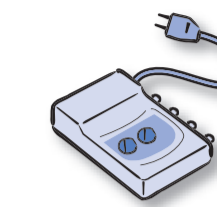
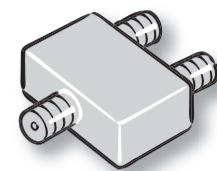
分波器として使えるものがあります。

用途に合った製品をご購入ください。

#### ・ブースター

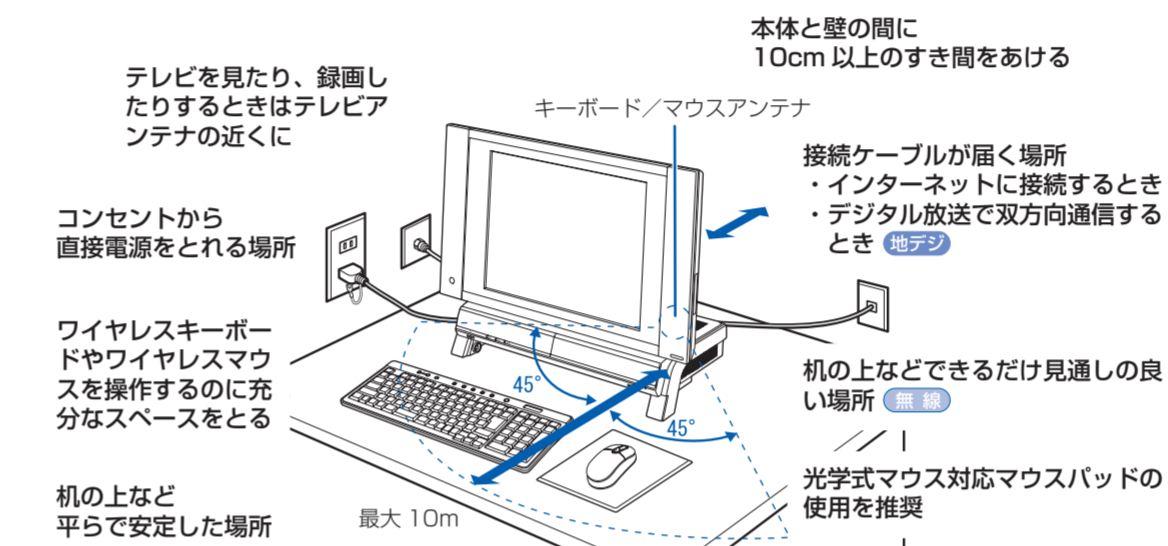
受信電波が弱い場合に電波を増幅させるための機器です。

用途に合った製品をご購入ください。



## 4 使用および設置場所を確認してください

パソコンは、次のような場所でお使いください。

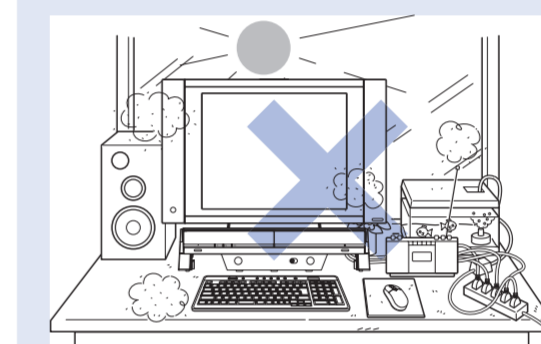


ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスはパソコン本体から最大 10m (3m 以内を推奨)、左右約 45 度の範囲で使うワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスはパソコンと同じくらいの高さで使う

### パソコン本体取り扱上の注意

- ・本製品の近くで携帯電話や PHS などを使用すると、画面が乱れたり、異音が発生したりする場合がありますので、遠ざけてお使いください。
- ・パソコン本体内部から聞こえる音や、パソコン本体が発する熱について本製品をご使用中は、パソコン本体内部の熱を外に逃がすためのファンの音や、ハードディスクドライブがデータを書き込む音、CD/DVD が回転する音などが聞こえます。また、本製品の使用に、パソコン本体が熱を持つために熱く感じられることがあります。これらは故障ではありません。
- ・雷が鳴り出した時は、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類、およびそれらにつながる機器に触れないでください。
- ・落雷の可能性がある場合は、パソコンの電源を切るだけでなく、すべてのケーブル類を抜いておいてください。

誤動作、故障、劣化、受信障害の原因となるため、次のような場所ではお使いにならないでください。



- ・極端に高温または低温になる場所
- ・モーター、スピーカーなど磁気発生するもの近く
- ・ほこりの多い場所
- ・水など液体のかかる場所
- ・テレビやラジオなど電磁波の影響を受けやすいもの近く
- ・結露する場所
- ・直射日光の当たる場所
- ・棚やドア付 AV ラックなど、空気の流れが悪い場所
- ・湿度の高い場所
- ・タコ足配線はしない

### 電波の影響を受ける環境でお使いになる場合

- 次のような場所でお使いになると、周囲の電波の影響を受けて、無線 LAN 接続が正常に行えないことがあります。
- ・Bluetooth® ワイヤレステクノロジー対応機器の 10m 以内
- ・電子レンジの近く
- ・アマチュア無線機の近く
- ・足元など見通しの悪い場所

Bluetooth® は、Bluetooth SIG の商標であり、弊社へライセンスされています。

## ここまで確認が終わったら、接続を始めましょう。

裏面に続く

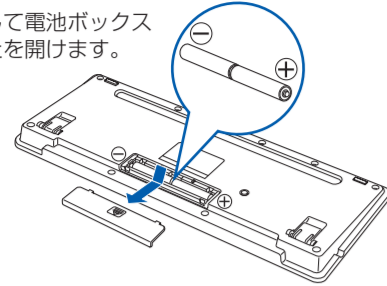


## 5 キーボード/マウスを準備する

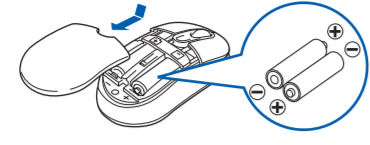
1 電池ボックスのふたを開け、添付のアルカリ乾電池（4本セット）を2本ずつ入れます。

### ■ワイヤレスキーボード

裏返して電池ボックスのふたを開けます。



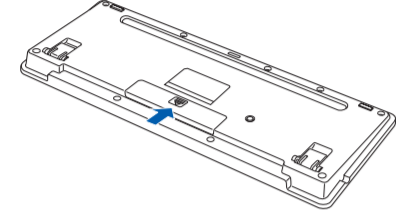
### ■ワイヤレスマウス（光学式）



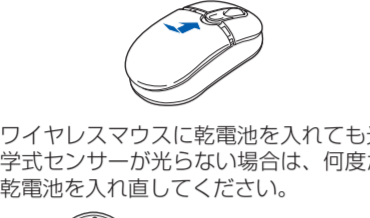
乾電池を入れるときには、キーボードのキーやマウスのボタンを押さないように注意してください。正常に動作しなくなる場合があります。

2 電池ボックスのふたを開めます。

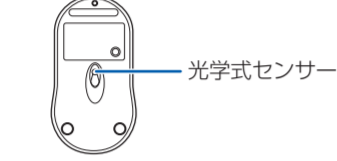
### ■ワイヤレスキーボード



### ■ワイヤレスマウス（光学式）



ワイヤレスマウスに乾電池を入れても光学式センサーが光らない場合は、何度か乾電池を入れ直してください。



### 乾電池を入れるときの注意

- 必ずアルカリ乾電池を使用してください。アルカリ乾電池をお使いにならないと、電池寿命が極端に短くなります。
- +（プラス）と-（マイナス）の向きに注意して、表示どおりに入れてください。

### 乾電池の寿命について

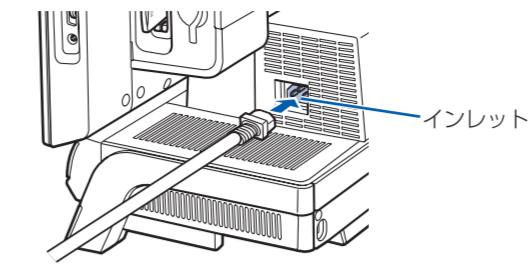
- ご購入時に添付されている乾電池は、すぐに寿命に達する場合がありますので、お早めに新しい乾電池に交換してください。
- 乾電池を交換する目安  
マウスの場合は1日2時間の使用で3ヶ月、キーボードの場合は6ヶ月です。
- ただし、マウスの乾電池の寿命は、お使いの状況によって大幅に変わります。1日2時間連続してマウスを使用した場合は、電池寿命が約1ヶ月程度になります。

### ワイヤレスキーボードの収納について

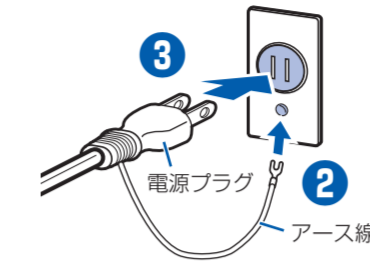
ワイヤレスキーボードは、パソコン本体の下に収納することができます。詳しくは「FMV取扱ガイド」にある「ワイヤレスキーボード/ワイヤレスマウスを使う」をご覧ください。

## 7 電源ケーブルを接続する

1 パソコン本体用電源ケーブルを、インレットに接続します。



2 アース線をコンセントのアースネジに差し込みます。



3 電源プラグをコンセントに差し込みます。

### コンセントに接続すると

電源ケーブルをコンセントに接続すると、数秒間電源ランプが点灯して電源が入ったような状態になりますが、故障ではありません。

### 電源プラグとコンセント形状の表記について

このパソコンに添付されている電源ケーブルの電源プラグは「平行2極接地用口出線付プラグ」です。マニュアルでは「電源プラグ」と表記しています。接続先のコンセントには「平行2極接地極付プラグ（125V15A）用コンセント」をご利用ください。通常は、ご家庭のコンセントをご利用になります。マニュアルでは「コンセント」と表記しています。  
※「接地用口出線」とはアース線、「接地極」とはアースネジのことです。

## 6 アンテナケーブルを接続する

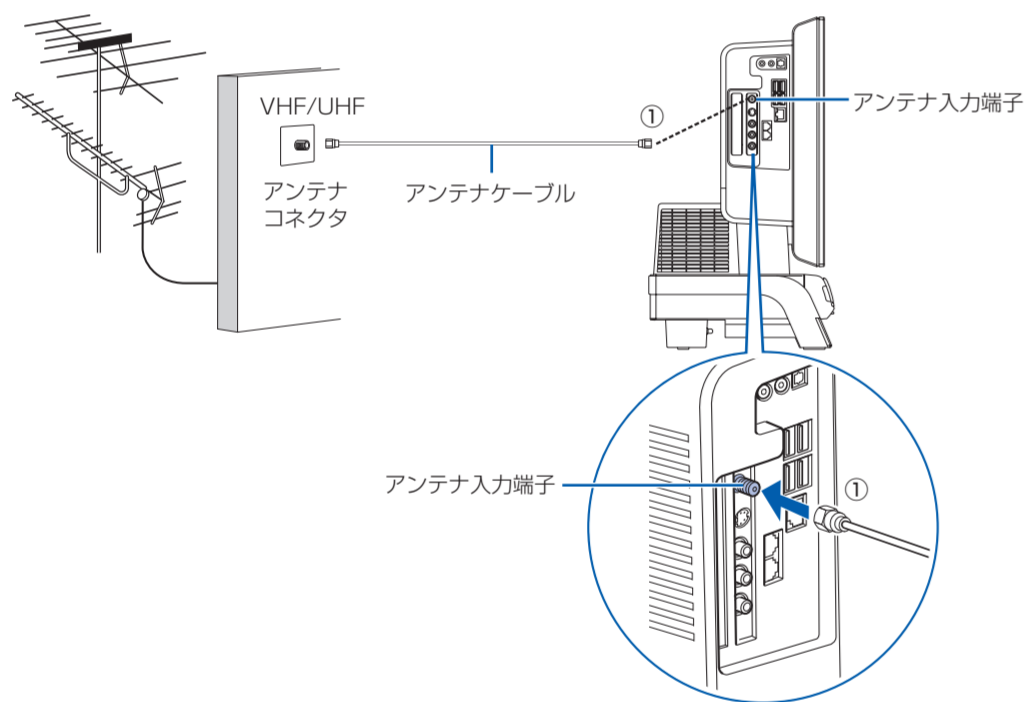
### アンテナケーブルをパソコン本体に接続する TV

このパソコンですぐにテレビを見ない場合は、ここでアンテナケーブルを接続する必要はありません。後からでも接続できます。

ここでのイラストは一例です。アンテナケーブルの接続方法は、アンテナの設置形態、壁のアンテナコネクタの形、お使いになるケーブルによって異なります。詳しくは「FMV取扱ガイド」をご覧ください。

### アンテナ入力端子が1つの場合

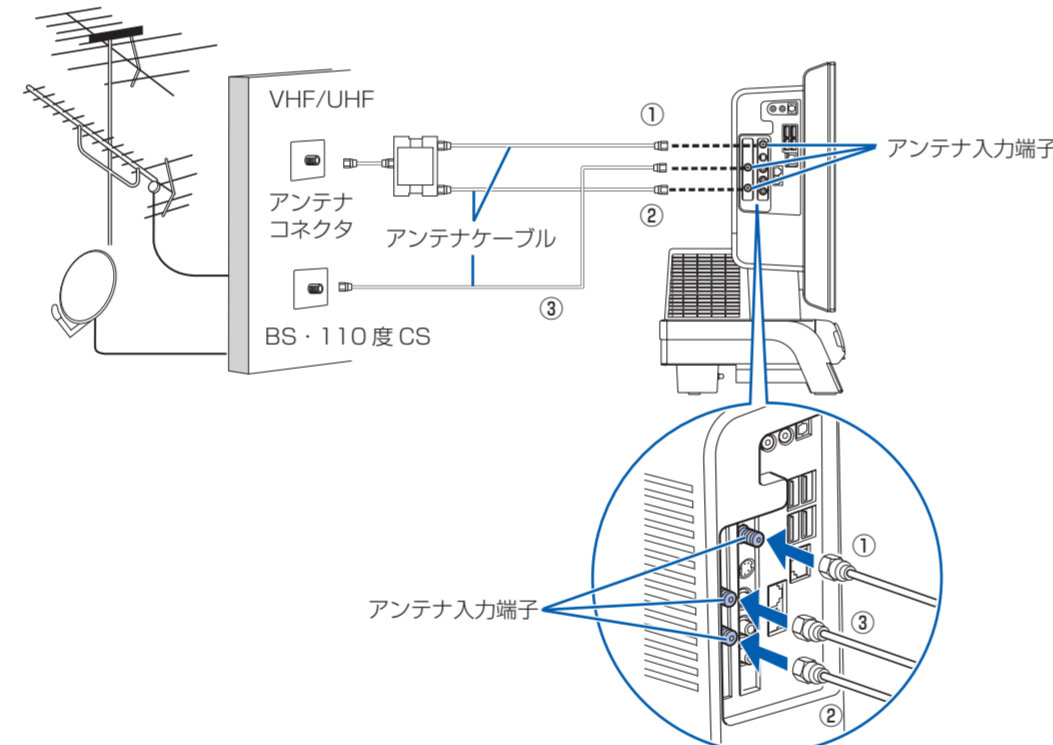
1 アンテナケーブルを接続します。



テレビチューナー（地上デジタル）が搭載されている機種のアンテナ入力端子は、通常のアナログ放送と地上デジタル放送が共用になっています。

### アンテナ入力端子が3つの場合

1 アンテナケーブルを接続します。



### B-CASカードをセットする 地デジ

1 B-CASカードを、パソコン本体右側面のB-CASカードスロットに挿入します。

「B-CAS」と記載されている面をパソコン本体の背面側に、矢印の向きをB-CASカードスロット側に向け、まっすぐにセットします。



### B-CASカードについて

- B-CASカードの説明書に記載されている内容をよくお読みください。
- B-CASカードは必ずパソコン本体に挿入してください。B-CASカードを挿入していないと、デジタル放送を視聴することができません。

## このあとは・・・

次のような設定が必要です。

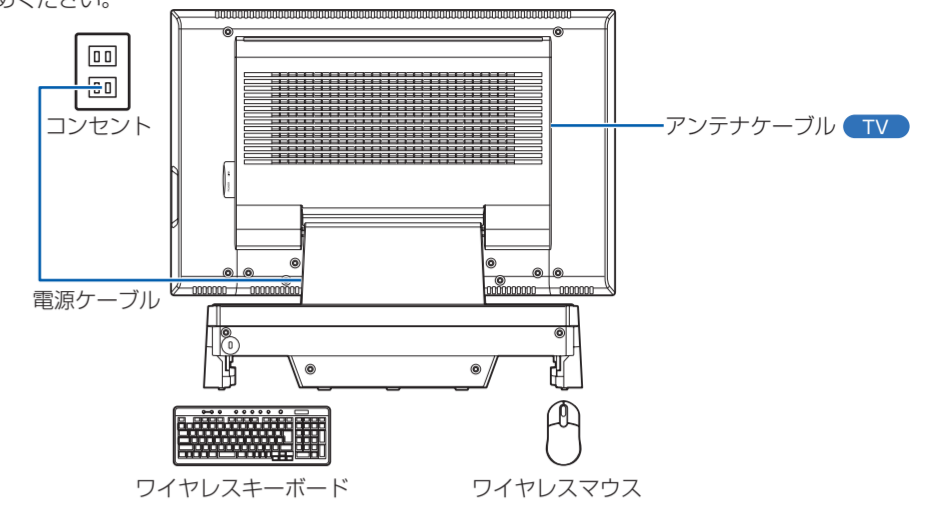
- Windows セットアップ
- インターネットの設定
- セキュリティ対策
- ユーザー登録 など

# 『スタートガイド2 セットアップ編』をご覧ください。

## 8 初めて電源を入れる

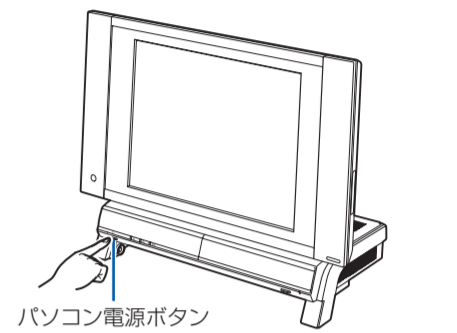
### 接続を確認する

- ケーブルはグラグラしていませんか？奥までしっかりと差し込まれているか、もう一度お確かめください。



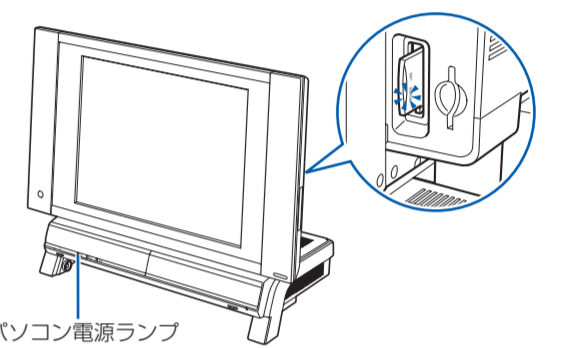
### 電源を入れる

1 パソコン電源ボタンを押します。



2 パソコン電源ランプが緑色に点灯していることを確認します。

電源が入ると、画面にさまざまな文字などが表示されます。



3 そのまましばらくお待ちください。

電源を入れると、次のような画面が表示されます。「Microsoft Windows へようこそ」という画面が表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。



## スタートガイド 2 セットアップ編

「スタートガイド 1 設置編」の次をご覧ください。

「スタートガイド 1 設置編」での確認と設置が終わったら、パソコンの準備を行います。

準備の流れ

- 1 Windows のセットアップ
- 2 「必ず実行してください」の実行
- 3 今までお使いになっていたパソコンの設定を移行する
- 4 インターネット接続の設定をする
- 5 Windows を最新の状態にする (Windows Update)
- 6 セキュリティ対策をする (セキュリティ対策ソフトの初期設定)
- 7 FMV を最新の状態にする (アップデートナビ)
- 8 パソコンの状態を保存する (マイリカバ)
- 9 ユーザー登録をする

FUJITSU